

第18回2024年度遠藤周作学会・全国大会（共催 県立神奈川近代文学館）

開催のご案内

第18回2024年度遠藤周作学会・全国大会を県立神奈川近代文学館（横浜市）と共同開催にて、下記の通り実施いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようにご案内申し上げます。

第17回からはじまった5年区切りのシンポジウム、今回は1950年－55年を目安に展開します。ちょうど遠藤の留学期間をカバーする時期です。1950年6月4日、フランス船マルセイユーズ号で出港してから74年、その出発の地である横浜を会場に大会を開催できることは望外の喜びです。

また、5年ぶりの懇親会も予定しております。横浜の港を眺めながら、会員同士、親交を深め、また情報交換をおこなう特別な一夜が期待できます。どうぞ、ふるってご参加ください。

恐れ入りますが添付の出欠表にご記入の上、7月31日(水)までに出欠をお知らせくださいますようお願い致します。

2024年7月14日

遠藤周作学会事務局

記

開催日時 2024年9月21日（土）

会場 県立神奈川近代文学館

プログラム

受付 12:30～13:00

1. 開会の辞 13:00

県立神奈川近代文学館館長 荻野アンナ（予定）

2. 研究発表

① 13:10～13:40

遠藤周作文学における宗教と世俗—日本におけるカトリック作家の苦悩—

東京大学大学院宗教学研究室博士課程 田口哲郎

② 13:40～14:10

『沈黙』における長崎言葉の由来

長崎大学名誉教授 増崎英明

③ 14:10～14:40

作家と文体：遠藤周作の場合

南山大学 金 承哲

3. シンポジウム 14:55～17:10

小説家、遠藤周作の誕生—フランス留学から文壇での地位の確立まで（一九五〇年代、二七歳～三四歳）

コーディネーター・司会 南山大学非常勤講師 北田雄一

① フランソワーズ・パストル先生の影を追って

國學院大學短期大学非常勤講師 太原正裕

② 遠藤周作と村松剛：同人誌『批評』と日本文化会議を中心に

関東学院大学キリスト教と文化研究所客員研究員 神谷光信

③ 『海と毒薬』における戦争の記憶と傷痕

金沢大学 飯島 洋

4. 閉会の辞 17:10

遠藤周作学会代表 山根道公

遠藤周作学会総会 17:20

懇親会 18:00 ポートヒル横浜 会費 一般 6,000円 院生・学生 4,000円

■今大会はすべて対面開催です。役員会は別日開催（オンライン）です。

■神奈川近代文学館で開催中の企画展「古田足日展」を無料で観覧できます。

■昼食を持ち込みで召し上がることができます（文学館2階中会議室 11:00～）

以上

遠藤周作学会事務局

〒807-8586 福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1

九州女子大学 古浦修子研究室内

Tel. 093-693-3348 E-mail: soymilk@titan.ocn.ne.jp

全国大会運営委員 笛木美佳 E-mail: f_mika@swu.ac.jp